

平成26年度 指定管理者年度総合評価表

(平成26年4月～平成27年3月実施分)

作成日	平成27年 6月 3日
-----	-------------

■指定管理者概要

施設名	八戸市史跡根城の広場	
所在地	八戸市大字根城字根城、字東構、字下町、字西ノ沢、根城八丁目地内	
施設概要	八戸市博物館の野外学習施設として設置 市民等の歴史学習の場、憩いの場に資することを目的とする。 中世城郭である国史跡根城跡を復原整備した史跡公園（整備面積約30,000㎡） 復原建物関係……主殿、馬屋、工房、鍛冶工房、板蔵、門、柵、塀、四阿等 植栽関係………薬草園、張り芝、実のなる木、鑑賞の対象となる木、シダレザクラ・イチイ・ツツジ等の植栽物	
指定管理者	名称	公益社団法人八戸観光コンベンション協会
	代表者	会長 大黒 裕明
	所在地	八戸市内丸一丁目1番2号
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日	
指定管理者の業務	根城の広場で行う事業の企画及び実施に関する業務 根城の広場の施設、設備等の維持管理に関する業務 根城の広場の管理業務に付随して必要となる附帯業務 その他八戸市教育委員会が必要と認める業務	
市所管課 (問合せ先)	教育委員会 博物館	
	電話	0178-44-8111 (直通)
	E-mail	haku@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	<p>史跡根城の広場の中で最も重要な復原施設である主殿をはじめとする各施設の管理に当たっては、八戸市教育委員会と綿密な打合せをし、細心の注意を払い管理運営を行っている。</p> <p>「日本百名城」に認定された国の重要な文化遺産であることを念頭におき、各施設を大切に保護している。</p> <p>休館日を知らずにお出でになったお客様には、外観を見せるなど臨機応変に対応した。</p> <p>特に広場利用者の安全確保を図るため枯れ木や危険木の調査を行い、剪定・伐採・撤去を実施した。</p> <p>県内外へのPRを図るため、新規事業として通年用ポスターを「B1サイズ200枚、B2サイズ500枚、A3（変形型）サイズ1,300枚」作成し、日本百名城の関係機関や観光の主要施設などへのポスター・チラシ配布を行った。</p> <p>魅力ある各種事業「史跡根城さくらまつり」「根城記念祭」「史跡根城まつり」や、「根城おもしろ講座」での歴史講演会と体験学習を開催している。特に歴史講演会では各講座とも人気があり、昨年に比べ参加者が増加している。「史跡根城えんぶり撮影会」は年々好評を博しており、今年は天候にも恵まれ来場者数も増加した。毎年行われる写真コンテストでは、入選作品の半分以上が根城撮影会で撮られた写真であり、今後も根城のPRになるため、撮影会場を工夫しながら続けていきたい。</p> <p>通年型の体験工房は外国人にも人気があり、参加者が昨年の2倍（平成26年度/210人）となっている。今年新たに「デコ八幡馬づくり」を取り入れ、好評を得た。</p>
----	---

今後の目標	<p>史跡の整備は現状を維持することを第一と考えている。施設の老朽化が進む中での保守管理については日常点検を強化するとともに、八戸市教育委員会との連携を図り整備して行きたい。</p> <p>引き続き広場利用者の安全確保に努めて行くためにも、職員の防災意識を高め、緊急時に早急な対応が出来るよう体制を整えたい。</p> <p>事業の広報宣伝では、広報・チラシの他、HPや各メディアを活用したPRを行うとともに、各種行事・おもしろ講座は内容の一部を更新しながら展開する。</p> <p>事業内容については、関係団体（ボランティアグループ・根城史跡保存会）との連絡を密にし、広場利用の充実を図る。</p> <p>来場者やおもしろ講座参加者のアンケート調査の結果に基づき、報告・改善などを行いPRと誘客促進に活用する。</p> <p>シダレザクラや薬草園の保存整備を行い、引き続きPRしていきたい。</p>
-------	---

■市（所管課）の総合評価

評価	<p>清掃、芝生育成管理、植栽管理、草刈り作業等の維持管理業務が適正に行われ、施設の整備が行き届いていた。危険と思われる樹木の剪定・伐採により利用者の安全確保が図られ、入場者へのアンケート調査では、復原建造物や景観等の全体的な印象で高評価が得られた。</p> <p>事業の実施については、「根城おもしろ講座」や「ものづくり体験工房」で新講座を取り入れるなど、参加者の増加に努めていた。また、施設を紹介するポスターやチラシを新たに作成し全国の百名城へ配付するなど、市内のみならず市外へ向けた広報も行っていった。講座の参加者数と施設の入場者数は前年度実績を上回っており、指定管理者の積極的な広報活動と事業への取り組みによるものと評価する。</p>
指摘事項	<p>消防訓練が行われていなかったため、消防計画に基づき適正に実施するよう指導した。</p>

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	◎	<p>業務基準書に示された内容と比べ休場日を減らし、市民サービスの向上に努めていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休場日に4回臨時開場した。
法令の遵守	△	<p>軽微な法令違反があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練を実施していなかった。
適正な人員配置	◎	<p>業務基準書に示された配置基準以上の人員を配置していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡根城まつりや各種自主事業では、更に人員を増員し対応した。
従事者の労働環境確保	○	<p>労働関係法令が遵守されていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最低賃金等の労働関係法令が遵守されていた。
協働のまちづくりへの協力	○	<p>提案内容と概ね同水準の地域貢献活動が行われていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の公園内の草刈り・清掃活動を実施していた。
従事者の教育・研修	◎	<p>従事者の教育や研修が非常に良く行われていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営に携わるために必要な研修等に従業員を参加させていた。
緊急事態への対応	△	<p>事故、災害等の緊急事態への対応（準備）がやや不十分だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強風や大雨等の際には、見回り点検、施設・設備等の応急処置等迅速な対応を行っていた。 ・消防訓練を実施していなかった。

文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出されていた。
使用料の徴収事務	○	使用料の徴収事務が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	21年度から25年度、26年度から30年度と継続して指定管理者の指定を受けているので、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 (施設の使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理(点検や修繕等)が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 ・警備業務、消防設備保守点検業務、浄化槽維持管理業務、植栽管理等業務、草刈り作業等業務、芝生育成管理等作業業務、ごみ収集業務はそれぞれ外部業者に委託していた。 ・業務報告書及び一部現地確認により実施状況を確認した。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
入場者数の状況	◎	入場者数は前年実績を上回った。 25年度実績 16,944人 26年度実績 17,901人(対前年度比106%)
根城おもしろ講座開催状況	◎	参加者数は前年実績を上回った。 25年度実績(講演会3回、体験講座7回)343人 26年度実績(講演会3回、体験講座7回)373人(対前年度比109%) ・根城に因んだ歴史講演会と、物作りの楽しさを学ぶことができる体験学習講座を開催した。業務基準書に示された回数以上に実施し、新講座を企画するなど、創意工夫に努めていた。

史跡根城まつり開催状況	○	<p>入り込み数は前年度実績をやや下回ったものの、ほぼ例年並みであった。</p> <p>25年度実績 5,412人 26年度実績 4,872人 (対前年度比90%)</p> <p>・根城の歴史と郷土に対する認識を深めるとともに伝統的な文化芸能に親しむことを目的に、地域の小中学校や団体による演奏や踊りなどの芸能の発表、護摩焚き、根城史跡ボランティアガイドによるガイドウォーク、郷土料理・民芸品の販売等を実施した。</p>
自主事業	◎	<p>自主事業を多数実施し、入場者増等に大きな効果があった。</p> <p>4月～5月 史跡根城(主殿)で鎧を着よう実施 着用者284人 5月 史跡根城さくらまつり実施 入り込み数1,290人 根城記念祭実施 入場者118人 9月 根城南部杯グラウンド・ゴルフ大会実施 参加者423人 2月 史跡根城・えんぶり撮影会実施 入り込み数302人 通年 ものづくり体験工房実施(41回) 参加者210人 自主事業参加者合計 2,627人 (対前年度比98%)</p>
その他の取組 (運営に関する工夫)	◎	<p>自主的な取組を行った結果、サービスの向上に大きな効果があった。</p> <p>・事業ごとにチラシ・ポスター配布、のぼり旗設置、ホームページの掲載等を実施したほか、26年度の事業内容をまとめた「根城の広場だより」を発行し、施設の周知に努めた。</p> <p>・夏場には、来場者のための日傘・うちわ・麦茶を用意し、好評だった。</p>

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																					
指定管理業務の収支状況	○	<p>収支計画を達成し、黒字であった。</p> <p style="text-align: right;">(単位: 円)</p> <table border="1" data-bbox="632 1196 1461 1666"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>収支計画</th> <th>収支実績</th> <th>前年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">収入①</td> <td>指定管理料</td> <td>37,907,000</td> <td>37,907,000</td> <td>34,232,000</td> </tr> <tr> <td>修繕料繰越金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>244,400</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td>0</td> <td>82,496</td> <td>91,100</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>37,907,000</td> <td>37,989,496</td> <td>34,567,500</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">支出②</td> <td>人件費</td> <td>13,774,000</td> <td>13,420,630</td> <td>12,172,104</td> </tr> <tr> <td>維持管理経費</td> <td>21,313,000</td> <td>21,051,506</td> <td>20,443,417</td> </tr> <tr> <td>事業費・一般事務費</td> <td>1,720,000</td> <td>1,612,798</td> <td>1,331,925</td> </tr> <tr> <td>租税</td> <td>1,100,000</td> <td>1,132,282</td> <td>612,366</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>37,907,000</td> <td>37,217,216</td> <td>34,559,812</td> </tr> <tr> <td></td> <td>次年度修繕料繰越金③</td> <td>0</td> <td>1,188</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>収入-支出(①-②-③)</td> <td>0</td> <td>771,092</td> <td>7,688</td> </tr> </tbody> </table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	指定管理料	37,907,000	37,907,000	34,232,000	修繕料繰越金	0	0	244,400	その他収入	0	82,496	91,100	計	37,907,000	37,989,496	34,567,500	支出②	人件費	13,774,000	13,420,630	12,172,104	維持管理経費	21,313,000	21,051,506	20,443,417	事業費・一般事務費	1,720,000	1,612,798	1,331,925	租税	1,100,000	1,132,282	612,366	計	37,907,000	37,217,216	34,559,812		次年度修繕料繰越金③	0	1,188	0		収入-支出(①-②-③)	0	771,092	7,688
	項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																			
収入①	指定管理料	37,907,000	37,907,000	34,232,000																																																			
	修繕料繰越金	0	0	244,400																																																			
	その他収入	0	82,496	91,100																																																			
	計	37,907,000	37,989,496	34,567,500																																																			
支出②	人件費	13,774,000	13,420,630	12,172,104																																																			
	維持管理経費	21,313,000	21,051,506	20,443,417																																																			
	事業費・一般事務費	1,720,000	1,612,798	1,331,925																																																			
	租税	1,100,000	1,132,282	612,366																																																			
	計	37,907,000	37,217,216	34,559,812																																																			
	次年度修繕料繰越金③	0	1,188	0																																																			
	収入-支出(①-②-③)	0	771,092	7,688																																																			
自主事業の収支状況	○	<p>収支計画を概ね達成し、黒字であった。</p> <p>収入840,284円(計画730,020円、前年度実績734,080円) 支出764,954円(計画702,020円、前年度実績596,721円) 収入-支出75,330円</p>																																																					

4 運営に係る体制整備状況等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。 ・常時、施設内にアンケート用紙を設置し、来場者の意見・要望等に応えるよう配慮した。また、「根城おもしろ講座」開催時は、毎回、参加者にアンケート調査を実施した。 ・復原建造物・景観等の全体的な印象、展示内容、案内板・説明版・リーフレット等の内容の満足度は、平均 78.1%であった。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等を、ホームページやポスター・チラシの配布、各種広告等で積極的に周知していた。 ・年間行事案内のチラシのほか、各行事のポスターやチラシも配布していた。また、施設を紹介するポスターを新規に作成し、配布していた。 ・ホームページでは、スタッフのブログ形式で施設の様子を紹介するなど、こまめな情報発信に努めていた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。 ・意見箱を設置していた。
苦情・要望等への対応	○	苦情・要望等に対し、適切に対応していた。 25年度実績 0件 26年度実績 2件(苦情2件) ・2件とも市が受け、市から指定管理者へ連絡した。苦情に対する対応は、速やかに行われた。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、従業員に随時注意を促すなど、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
	実施状況
自主点検状況	・施設内の建造物は毎日の清掃時に、備品は年に2回点検を行い、必要と思われる事項については、その都度市へ報告した。 ・来場者へのアンケート調査を実施し、可能なものは随時対応した。

2 定期モニタリング	
	実施状況
定期報告状況	月例業務報告書、年間業務報告書が遅滞なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	10回	5月20日	担当	苦情に対する対応状況を確認
		6月2日	副館長 参事・担当	帳簿類の確認
		10月11日	担当	事業実施状況確認
		11月18日	担当	苦情に対する対応状況を確認
		1月22日	担当	備品納品確認
		1月30日	担当	修繕実施状況確認
		2月10日	副館長 参事・担当	事業実施に関する打合せ
		2月13日	担当	備品の不具合の状況確認
		3月5日	副館長 参事・担当	次年度の収支計画に関する打合せ
3月27日		担当	修繕実施状況確認	
実施結果				
<ul style="list-style-type: none"> ・上記のほか、施設の維持管理業務実施状況を、必要に応じ随時確認した。 ・事業の実施及び施設の維持管理は、問題なく行われていた。 ・帳簿類は整備され、事務処理も適正に行われていた。 ・苦情に対する対応が、適正に行われていた。 				